

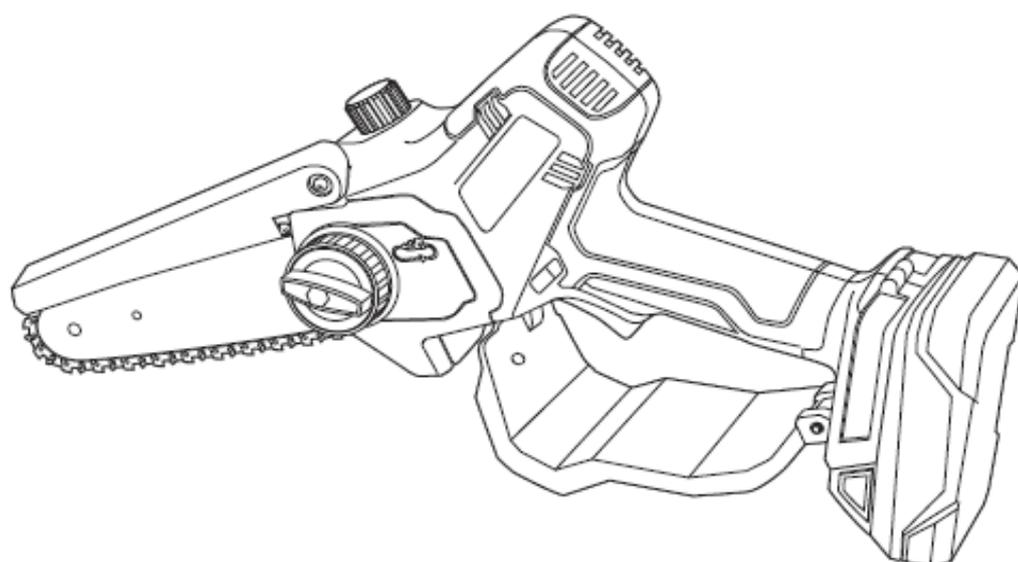


- 保 管 用
- 保 証 書 付

18V充電式ハンディチェーンソー

取扱説明書

BS-18VHC150



- このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、十分にご理解いただいて、正しく安全にお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名及び
購入シール」などの記入を確かめ、この
取扱説明書とともに大切に保管してくだ
さい。

もくじ

安全上の注意	2
使用上の注意	9
各部の名称	10
準備	11
使いかた	17
お手入れ	19
故障かな？と思ったときに	25
仕様	27
保証書	裏表紙

安全上の注意

いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



しなければならないことを示す記号です。具体的な内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

作業環境及び作業者についての注意



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



- 高所で作業する場合は、高所作業用の機器を使用して足場を確保する
- 高所作業時は安全帯を使用する
不安定な足場では、事故の原因になります。



- 作業中は、子供や他の人を近づけない
- 暗いところで使用しない
- 雨上がりなど滑りやすい場所や、急傾斜地などでは使用しない
事故の原因になります。
- 無理な姿勢で作業しない
常に足元をしっかりとらせ、バランスを保ってください。事故の原因になります。
- 次の方は使用しない
 - ・ 疲労している方・けがをしている方・疾病のある方。その他体力に自信のない方
 - ・ アルコールまたは医薬品を飲んでいる方事故の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生する内容を示しています。



- 作業する場所は整理整頓し、きれいに保つ
- 障害物は片付ける
- 十分に明るい場所で作業する
- 同一場所で複数人で作業する場合は、互いに安全な距離を確保し、監督者を置く
事故の原因になります。
- すそ締まりの良い長袖・長ズボンを着用する
- 作業時は、安全手袋・安全ゴーグルなどを着用する
- 必要に応じて、耳栓・ヘルメットなどを着用する
けがの原因になります。

電池パック・充電器についての注意



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています。



- 電池パックを交換するときは、説明書にしたがい正しく取り付ける間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。
- 電池パックの電解液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗う目に傷害が発生するおそれがあります。
洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。



分解禁止

- 電池パックは分解しない
発熱・破裂により、火災やけがの原因になります。



- 指定以外の電池パックは使用しない
- 電池パックは専用の充電器以外で充電しない
- 付属の電池パックは、18V B-Shareシリーズ以外に使用しない
- 電池パックは、高温になる場所・直射日光の当たる場所(車内など)で充電・保管・放置しない
- 電池パックを、火に投げ入れたり、加熱したりしない
- 電池パックを、高いところから落としたり、投げつけたり、釘をさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしない
- 電池パックを水につけない
発熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。

安全上の注意 つづき



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



- 電池パックから液がもれたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざける
引火するおそれがあります。
- 電池パックの電解液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐに洗い流す
皮膚炎や衣服の損傷のおそれがあります。
- 電池パックを取り外したときは、カバーを付ける
ショートして、火災・感電の原因になります。
- 充電器の電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む
ショートして、火災・感電の原因になります。
- 充電器の電源プラグのほこりは定期的に取り除く
- 充電する前に、充電器や電池パックのほこりを取り除く
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

- ぬれた手で充電器や電池パックの抜き差しをしない
- 充電器や電池パックを、水につけたり、ぬらしたりしない
- 雨の中や湿気の多いところで、充電したり置いたりしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 充電器は交流100V以外で使わない
火災・感電の原因になります。
- 電池パックの電解液がもれたり、異臭がするときは、使用しない
発熱・発火・周囲の汚損の原因になります。
- 電池パックは、乳幼児の手の届くところに置かない
感電やけがの原因になります。
- 充電器の電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートして、火災・感電の原因になります。
- 充電器の電源コードを傷つけない
充電器の電源コードを、傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、はさみ込む、とがった角に当てるなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



- 乳幼児に充電器の電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。
- 充電器の通気口をふさがない
通気口に布などをかぶせないでください。また、充電は換気の良い
場所で行ってください。
発熱して、火災の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生する内容を示しています。



プラグを抜く

- 使用しないときは、充電器の電源プラグをコンセントから抜く
火災の原因になります。
- 充電器の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



- 充電が終了したら、充電器から電池パックを外し、充電器の電源プラグを抜く
火災や感電の原因になります。
- 長期間使用しないときは、電池パックを外す
火災や感電の原因になります。



- 可燃性のガスや液体、粉塵のある場所で充電しない
火災の原因になります。

安全上の注意 つづき

チェーンソーについての注意



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています。



- 安全ロックボタンを押す前、トリガーを引く前に、必ず安全を確認する
刃が何にも触れていないこと、人が近くにいないことを確認してください。
- 電池パックを装着する前に、トリガーが引かれていないこと、安全ロックスイッチが押されていないことを確認してください。
突然動作して、事故の原因になります。



- トリガーに指をかけて運ばない
突然動作して、事故の原因になります。
- 空いている手で、切断するものを持たない
重傷を負うおそれがあります。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



- 使用する前に、ねじのゆるみ、破損や変形がないか、必ず点検する
ねじがゆるんでいたら、締めなおしてください。
破損や変形があった場合は、使用せず、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止し、電池パックを取り外す
火災や事故のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音や振動、においがする
 - ・ 破損・変形しているところがある
 - ・ トリガーを戻しても停止しない
 - ・ チェーン刃に破損やがたつきがある→使用を中止し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 使用する前に、ねじのゆるみ、破損や変形がないか、必ず点検する
ねじがゆるんでいたら、締めなおしてください。
破損や変形があった場合は、使用せず、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



- 以下のときは、必ず電源を切り電池パックを取り外す
事故やけがの原因になります。
 - ・チェーン刃の張りの調整をするとき
 - ・本機や本機の刃の点検・お手入れをするとき
 - ・持ち運び時
 - ・本機から離れるとき
 - ・本機の受け渡し時
 - ・チェーン刃が枝などに食い込んで、取り外すとき
- 使用しないときは、電池パックを取り外し、チェーンカバーをして、子供の手の届かないところに保管する
- 始動するときはチェーンカバーを外す
- 始動する時は、人のいない方へ向けて始動する
- 木や枝の落下方向に人がいないことを確認してから切断作業をする
事故の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で使用しない
感電・やけど・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

- 雨の中や水まわり、風呂場などぬれるおそれのある場所では、絶対に使用したり放置したりしない
- 本体や充電器を水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



分解禁止

- メンテナンス以外は、自分で分解・修理・改造しない
火災・感電・けが・事故の原因になります。
修理については、お買い上げの販売店またはお客様お問い合わせ窓口にお問い合わせください。



- メンテナンス以外はチェーン刃に触れない
けがの原因になります。
チェーン刃に触れる必要があるときは、電源を切り、電池パックを外して、作業用手袋を着用してください。
- 始動するときは、チェーン刃を地面や物に触れさせない
物の飛散や、本機の破損などにより、けがのおそれがあります。
- 乳幼児の手の届くところに置かない
- 子供に使わせない
- 人や動物に向けない
事故の原因になります。

安全上の注意 つづき



- 手・足・顔などを、チェーン刃に近づけたり、チェーン刃に触れたりしない
けがをするおそれがあります。
- 電池パックは、18V B-Share電池パック以外使用しない
けがをするおそれがあります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生する内容を示しています。



- 使用するとき、電池パックはしっかり取り付ける
きちんと取り付けられていないと、落下して怪我の原因になります。
- 切断する場所に、電線・水道管・ガス管などが通っていないことを確認する
感電・漏電・停電・水もれ・ガスもれなどの原因になります。
- 切断する箇所に、釘・鋸・コードなどの異物が入っていないことを確認する
事故やけがの原因になります。
- 作業時はグリップを持つ
他の部分を持つと、けがの原因になります。
- グリップに油やグリスが付かないように注意する
グリップがすべって、けがの原因になります。
- 本機を人に貸し出す場合は、安全指導を行い、取扱説明書を読むように指導する
不十分な取り扱いをすると、事故の原因になります。



- 石や金属などの固いものを切らない
事故の原因になります。
- 無理な姿勢で作業しない
転落や工具の落下などによる事故の原因になります。
- 長時間の連続使用はしない
振動による健康障害の原因になります。適切な時間・装備などを守って作業してください。
- 通気口をふさがない
過熱するおそれがあります。作業時の持ちかた、枝や葉でふさがれないように注意してください。

使用上の注意

- ・強い衝撃を与えないでください。
変色・変形・故障の原因になります。
- ・充電は、環境温度5～30℃の範囲で行ってください。
範囲外の温度では十分な充電ができないことがあります。
- ・電池パックを連続して使用したり充電したりすると、発熱して十分な充電ができないことがあります。
温度が低くなってから充電してください。
- ・使用時は、グリップを正しく握り、ひじを軽く曲げてください。肘を伸ばして作業しないでください。
- ・動作中は、グリップをしっかり握ってください。振動で飛ばされることがあります。
- ・作業は、腰から肩までの高さで行ってください。高く持ち上げたり、下に向けて使用しないでください。
- ・業務でチェーンソーを扱うには、講習を受け、資格を取得する必要があります。
- ・チェーンソーの作業時間は、厚生労働省通達により、機械または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」が 10m/s^2 以下の場合、以下のように定められています。
一日のチェーンソー作業時間を2時間以内にすること。
連続作業時間を10分以内にすること。

保管について

- ・保管するときは、風通しの良い乾燥したところに置いてください。

電池パックの保管について

- ・電池パックを4か月以上使用しないときは、満充電してから保管してください。
- ・保管中も時々充電して、残量50%程度を保ってください。
- ※電池パックを充電器に取り付けたまま保管しないでください。
- ※雨や湿気にさらされる場所では保管しないでください。
- ※子供の手の届かない場所に保管してください。

廃棄について

使用済み電池パックは、端子部分をテープで絶縁し、充電池リサイクル協力店にお持ちください。

- ※一般家庭ごみとして捨てないでください。



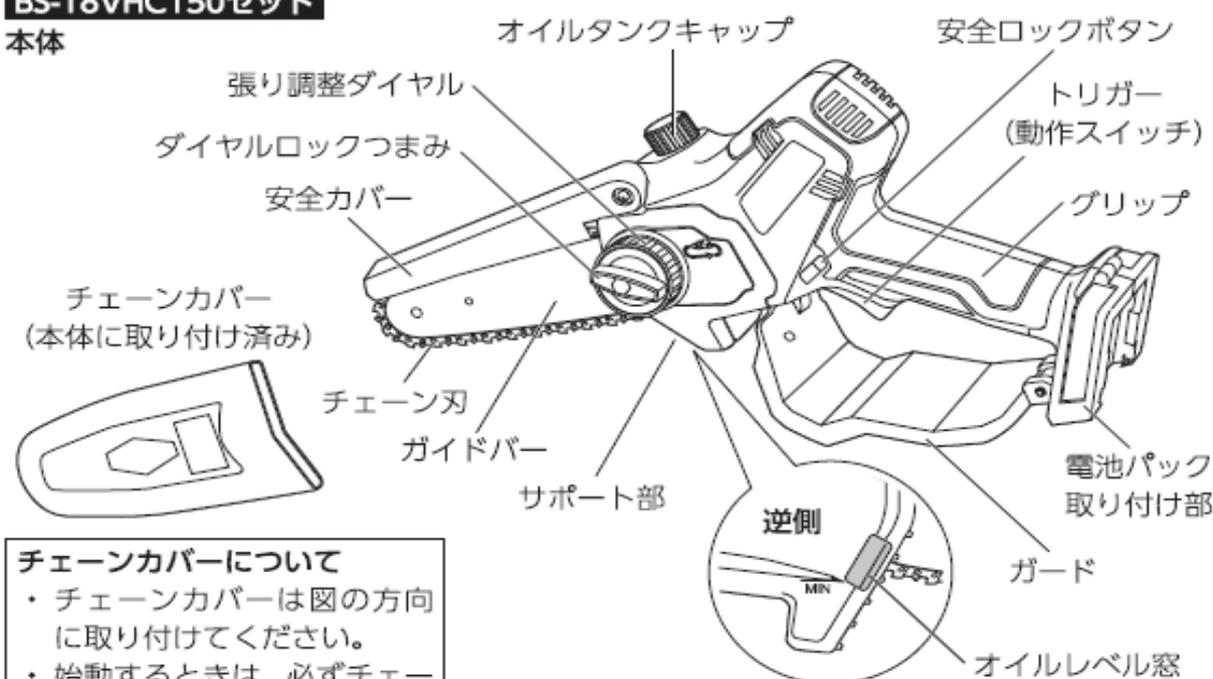
リチウムイオン電池は
リサイクルへ

製品を廃棄する場合は、電池パックを取り外し、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称

BS-18VHC150セット

本体

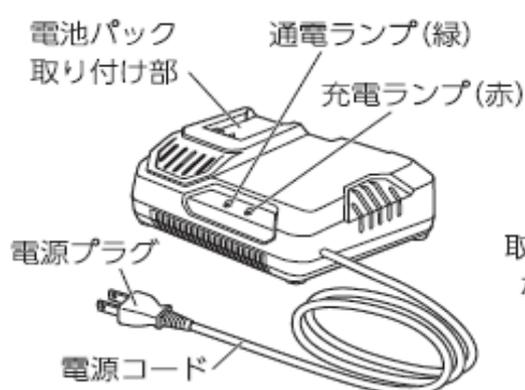


チェーンカバーについて

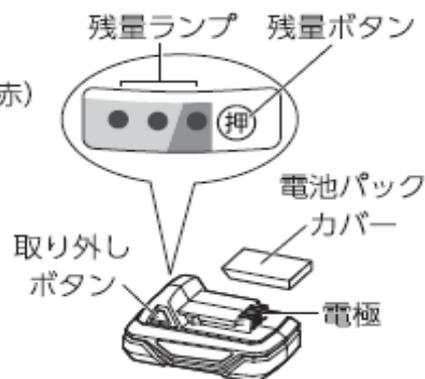
- ・チェーンカバーは図の方向に取り付けてください。
- ・始動するときは、必ずチェーンカバーを外してください。

BS-18VHC150セット

充電器



電池パック



チェーンソーオイル



※市販のチェーンソーオイルは、粘度ISO VG90 ~ 110か、SAE30であれば使用可能

お勧めの別売品

硬い木専用チェーン刃
BS-18VHC150用
JAN 4920501617780

電池パック 3.0A
BS-18VBP30
JAN 4920501898608

準備

■ チェーン刃の張りの点検と調整



警告

- 必ず、電池パックを取り外して行ってください。

※チェーンカバーを外して行ってください。

※作業用手袋をして行ってください。

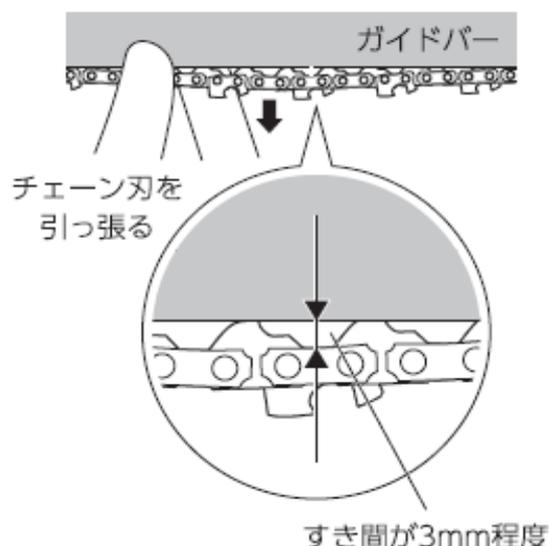
※新品のうちはチェーン刃が伸びやすいので、点検はこまめに行ってください。

- ・以下のことを確認します。

チェーン刃がガイドバーから外れず、正しくかかっていること

チェーン刃を引っ張り、チェーン刃とガイドバーの間に3mm程度すき間ができること

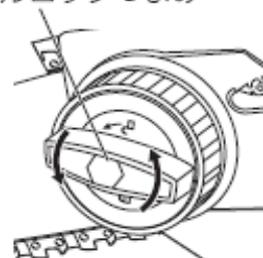
チェーン刃を離すと、チェーン刃が元の位置に戻ることを確認してください。



- ・点検を行って、張りの調整が必要な場合は、以下の手順で調整してください。

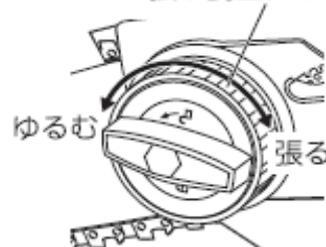
- 1 ダイヤルロックつまみを「←」の方向に回して、ダイヤルのロックを解除する

ダイヤルロックつまみ



- 2 張り調整ダイヤルを回してチェーン刃の張りを調整する

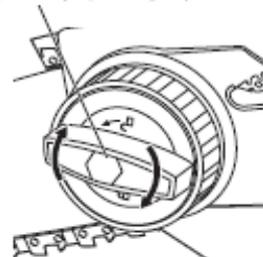
張り調整ダイヤル



- ・チェーン刃を引っ張って、チェーン刃とガイドバーの間に3mm程度すき間ができ、チェーン刃を離すと、チェーン刃が元の位置に正しく戻ることを確認してください。

- 3 ダイヤルロックつまみを「→」の方向へ回して、ダイヤルをロックする

ダイヤルロックつまみ



準備 つづき

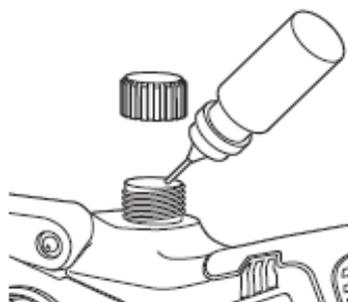
■ チェーンソーオイルの確認と補給

本機は自動注油機構のため、オイルタンクを備えています。

- ・ 本体左側のオイルレベル窓で、オイルがMINの目盛以上入っているか確認してください。



- ・ オイルが少ない場合は、①オイルタンクキャップを開け、②オイルを注ぎ足して、③オイルタンクキャップをしっかり閉めてください。



※ オイルを注ぎ足すときは、注入口からあふれないように、注入量を調整してください。

※ 付属のオイルを使い切った場合は、市販の粘度ISO VG90～110またはSAE30のオイルを使用してください。

- ❗ 使用した後のチェーンソーを保管する場合、必ずオイルタンク内のオイルを完全に抜き取ってから保管するようにしてください。
保管中のオイル漏れや部品の劣化の原因になります。

■ 充電

電池パックは、購入時点では十分に充電されていません。使用する前に必ず充電してください。充電完了までにかかる時間は、約30分です。(BS-18VBP15の場合)

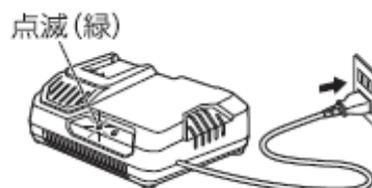
1 電池パックのカバーを外す



※ 電池パックを充電器や本体から取り外しておくときは、カバーを付けてください。

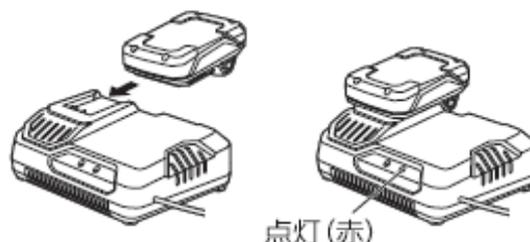
2 充電器の電源プラグをコンセントに接続する

- ・ 通電ランプ(緑)が点滅します。



3 充電器に電池パックを差し込む

- ・ 通電ランプ(緑)が消灯して、充電ランプ(赤)が点灯します。



※ 電池パックを差し込んでも通電ランプが点滅のままのときは、電池パックがしっかり差し込まれているか確認してください。

- ・充電が完了すると、充電ランプ(赤)が消灯して、通電ランプ(緑)が点灯します。



※電池パックや充電器が使用直後で熱くなっているときは、充電できずに充電ランプ(赤)が点滅します。その場合は、一旦電池パックを取り外して、冷ました後に再度取り付けてください。



※充電ランプ(赤)と通電ランプ(緑)が交互に点滅している場合は、電池パックの不良の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。



充電器のランプ表示

- ・充電器の通電中は、赤と緑のランプの点灯/点滅で状態を表示します。

☀ ○ (緑点滅)	通電状態
○ ● (赤点灯)	充電中
● ○ (緑点灯)	充電完了
○ ☀ (赤点滅)	待機中 ^{※1}
☀ ☀ (赤緑点滅)	電池故障 ^{※2}

※1 電池パックが熱くなっています。一旦取り外して、冷ました後に再度取り付けてください。

※2 電池パック過放電などで故障の可能性があります。販売店にご相談ください。

電池パックの残量確認方法

- ・電池パックの残量ボタンを押すと、残量ランプが点灯します。



● ● ● (全点灯)	80%以上
○ ● ● (2個点灯)	50 ~ 80%
○ ○ ● (1個点灯)	20 ~ 50%
○ ○ ○ (全消灯)	20%以下

※作業中も時々残量の確認を行い、残量ランプの点灯が1個だけになったら早めに充電してください。

準備 つづき

電池パックについて



危険

- 電池パックを交換するときは、説明書にしたがい正しく取り付けてください。間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。
- 電池パックの電解液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗ってください。目に傷害が発生するおそれがあります。洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。
- 電池パックは分解しないでください。発熱・破裂により、火災やけがの原因になります。
- 指定以外の電池パックは使用しないでください。
- 電池パックは専用の充電器以外で充電しないでください。
- 付属の電池パックは、18V B-Shareシリーズ以外に使用しないでください。
- 電池パックは、高温になる場所・直射日光の当たる場所(車内など)で充電・保管・放置しないでください。
- 電池パックを、火に投げ入れたり、加熱したりしないでください。
- 電池パックを、高いところから落としたり、投げつけたり、釘をさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしないでください。
- 電池パックを水につけないでください。発熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。



警告

- 電池パックから液がもれたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。引火するおそれがあります。
- 電池パックの電解液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐに洗い流してください。皮膚炎や衣服の損傷のおそれがあります。
- 電池パックを取り外したときは、カバーを付けてください。ショートして、火災・感電の原因になります。
- 充電器の電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。ショートして、火災・感電の原因になります。

- 充電器の電源プラグのほこりは定期的にとってください。
- 充電する前に、充電器や電池パックのほこりを取り除いてください。
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- めれた手で充電器や電池パックの抜き差しをしないでください。
- 充電器や電池パックを、水につけたり、ぬらしたりしないでください。
- 雨の中や湿気の多いところで、充電したり置いたりしないでください。
感電・やけど・けがの原因になります。
- 充電器は交流100V以外で使わないでください。
火災・感電の原因になります。
- 電池パックの電解液がもれたり、異臭がするときは、使用しないでください。
発熱・発火・周囲の汚損の原因になります。
- 電池パックは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
感電やけがの原因になります。
- 充電器の電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わないでください。
ショートして、火災・感電の原因になります。
- 充電器の電源コードを傷つけないでください。
充電器の電源コードを、傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、はさみ込む、とがった角に当てるなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 乳幼児に充電器の電源プラグをなめさせないでください。
けがや感電の原因になります。
- 充電器の通気口をふさがないでください。
通気口に布などをかぶせないでください。また、充電は換気の良い場所で行ってください。
発熱して、火災の原因になります。



注意

- 使用しないときは、充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因になります。
- 充電器の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

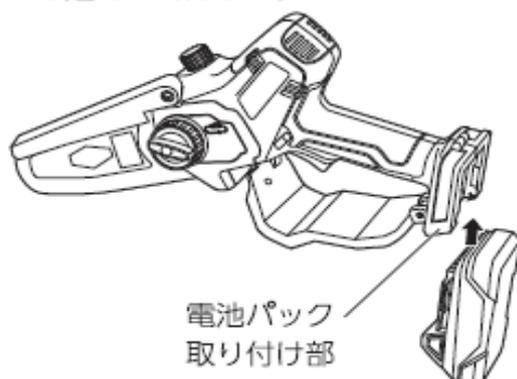
準備 つづき

- 充電が終了したら、充電器から電池パックを外し、充電器の電源プラグを抜いてください。
火災や感電の原因になります。
- 長期間使用しないときは、電池パックを外してください。
火災や感電の原因になります。
- 可燃性のガスや液体、粉塵のある場所で充電しないでください。
火災の原因になります。

- ・ 使用中は電池パックが熱くなることがあります。熱くなった電池パックは、充電する前に30分程度放置して、冷めるまで待ってください。
- ・ 充電中に、電池パックや充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- ・ 充電は、室温5～30℃の範囲で行ってください。室温が低かったり、直射日光が当たるなどして高温になると、正常に充電されず、使用時間が短くなったり、充電時間が長くなったりします。
- ・ 電池残量が低下して十分な動作ができなくなったときは、使用を停止し、電池パックを充電してください。
- ・ 電池パックはフルに充電されていなくても使用できます。
- ・ 電池パックを差し込むときに、金属片などをはさみ込まないように注意してください。

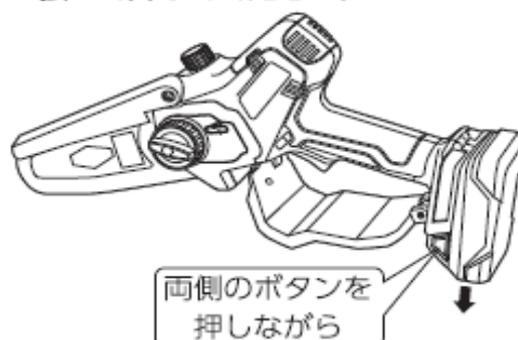
■ 電池パックの取り付け

- ・ 電池パック取り付け部に、電池パックを差し込み、カチッとなるまで押し込んでください。



電池パックの取り外しかた

- ・ 電池パック両側の取り外しボタンを押しながら、電池パックを手前に引っ張って外してください。



使いかた

■ ガードの取り外しかた

ガードは、必要に応じて取り外して使うことができます。

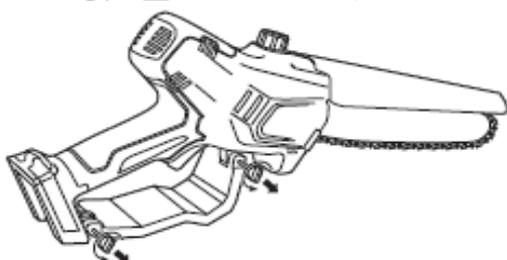


警告

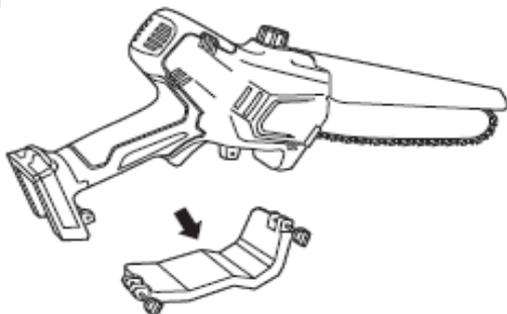
- 安全のため、通常使用時はできるだけガードを取り外さないでください。

1 ガード取り外しねじを回して、引き出す

- ・ガード取り外しねじは、取り外すことはできません。止まるまでいっばいに引き出してください。



2 ガードを取り外す

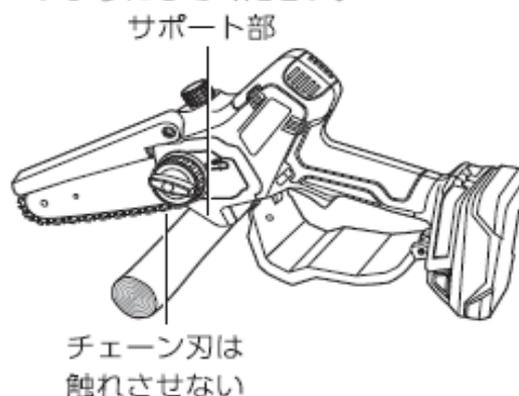


- ・ガードを再度取り付けるときは、逆の手順で取り付けてください。

本機は、安全ロックボタンを押しながらトリガーを引くことで動作します。また、トリガーを離すことで動作は停止します。ご使用前に、トリガーの動作を確認してください。

1 サポート部を切断する木に当てる

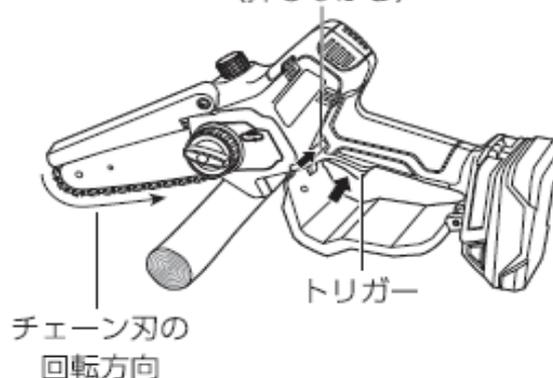
- ※チェーンカバーは外しておいてください。
- ※このとき、チェーン刃は木に触れないようにしてください。



2 安全ロックボタンを押しながら、トリガーを引く

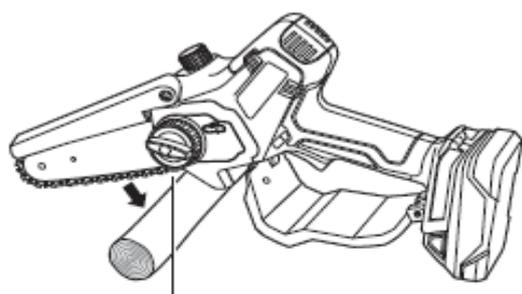
- ・本機が動作を開始します。
- ・そのままトリガーを引き続ければ、安全ロックボタンは元に戻りません。

安全ロックボタン
(押しながら)



使いかた つづき

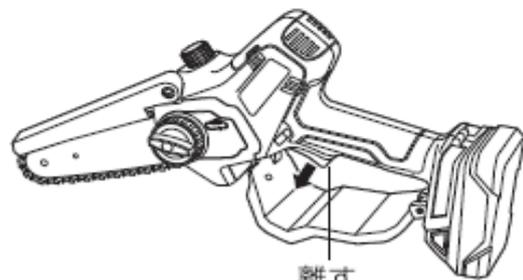
- 3** 最大スピードになったら、チェーン刃を切断する木に軽く当てて切る



チェーン刃を
当てる

- ※切断中は、無理な力をかけずに、本機をしっかりと持って作業してください。力を入れると、切断の効率が落ちる場合があります。
- ※枝をサポート部に当てながら切断してください。サポート部から枝を離すと、チェーン刃の動きによって本体が引っ張られます。
- ※新品のうちにはチェーン刃が伸びやすいので、チェーン刃の張りの点検をこまめに行ってください。(→P11)

- 4** 切断が終了したら、トリガーを離して動作を停止する



離す

枝を切るときは、上から切ります。

- ※枝の下側から切っていくと、枝の重みでチェーン刃が挟まれて取れなくなってしまいます。

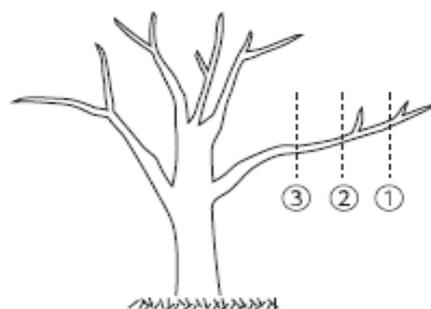


太い枝を切るときは、最初に下側から切れ込みを入れてから、上から切ります。

- ※下側から切れ込みを入れないで切ると、枝の重みで切断の途中で折れ、切断面がきれいになりません。



長い枝を切る場合は、何度かに分けて先端から切ってください。



お手入れ

警告

- 安全のため、必ず電源を切り、電池パックを抜いてからお手入れしてください。

注意

- 安全のため、作業手袋を着用してお手入れしてください。

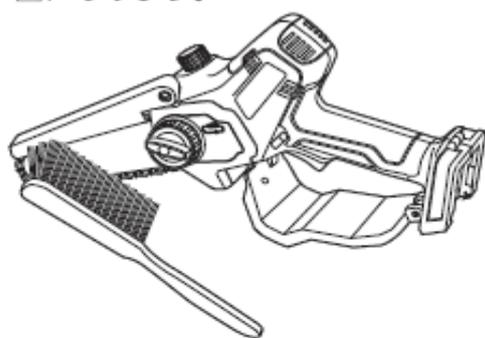
■ 本体のお手入れ

- ・ ブラシなどで切りくずや草・土を落とし、乾いた布などで汚れを拭き取ってください。

※ 汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。

※ シンナー・アルコール・ベンジン・アルカリ性洗剤・漂白剤などを使用しないでください。

変色・変形・変質・破損・故障の原因になります。

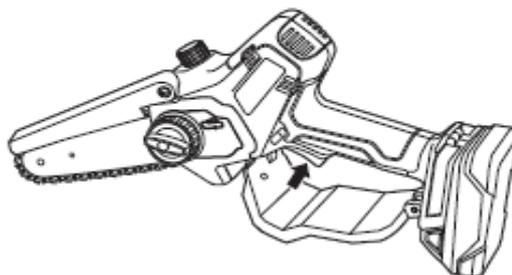


■ チェーン刃のお手入れ

- ・ チェーン刃の異物を取り除き、柔らかい布で水気を拭き取ります。



- ・ 水気を拭き取った後は、電池パックを装着し、チェーンソーを動作させてチェーン刃にオイルを行き渡らせてください。



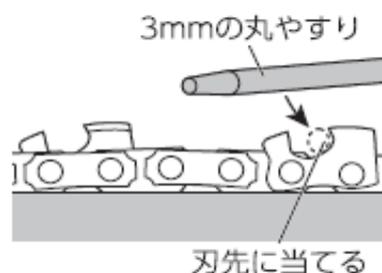
お手入れ っづき

■ チェーン刃の目立て

チェーン刃の切れ味が悪くなってきたら、チェーン刃の目立てをします。

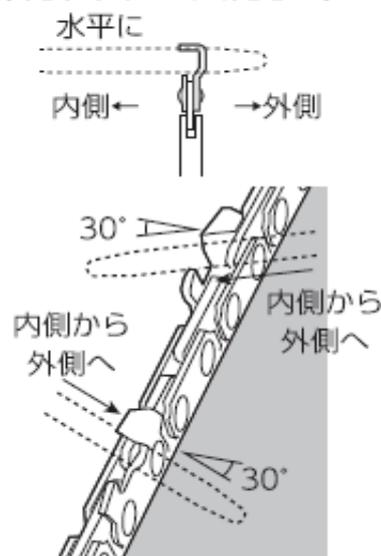
- ・チェーン刃の目立てをするときは、電源を切り、電池パックを外して、切り屑などのごみを取り除いてください。
- ・目立てをするときに、チェーン刃の張りを強くし、チェーン刃が動かないようにしてください。
また、より強固に固定するためには、逆さにしてガイドバーを万力かクランプではさんでください。
- ・目立て用のやすりは、3mmの丸やすり(チェーンソー用または金属用)を使用してください。

1 3mmの丸やすりをチェーン刃の刃先に当てる



2 チェーン刃の内側から外側へ押すようにやすりをかける

- ・やすりは水平に、上から見て約30°の角度で当て、内側から外側へかけます。
- ・やすりを外側からかけたり、往復でかけたりしないでください。

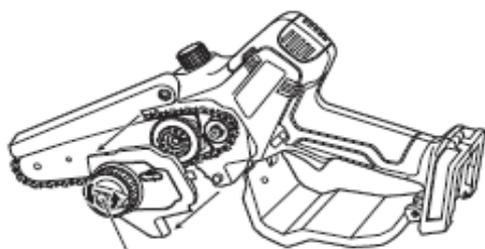


- ※チェーン全体で、刃の角度や深さをできるだけそろえてください。
- ※刃が鋭角や鈍角になりすぎないように注意してください。

■ 切り屑が中につまったとき

- ・ 本体カバーの内側に切り屑がたまると、過負荷の原因になります。また、ガイドバーの溝に切り屑がたまると、おオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。切り屑がつまったと思われるときは、以下の手順で取り除いてください。

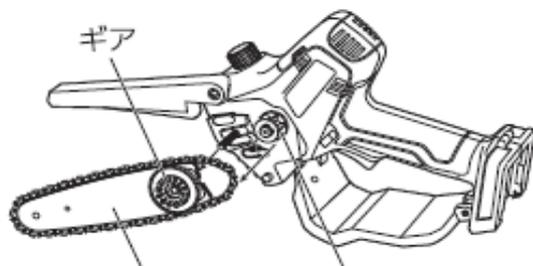
- 1** ダイヤルロックつまみを「←」の方向に回し続けて、本体カバーを外す



ダイヤルロックつまみ
(外れるまで回す)

- 2** チェーン刃をつけたまま、ガイドバーをシャフトから外す

- ・ チェーン刃がスプロケットから外れにくいときは、ギアを反時計回りに回してチェーン刃の張りをゆるめてください。



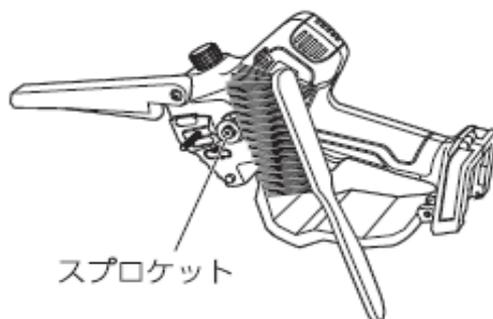
ガイドバー スプロケット

- 3** ガイドバーからチェーン刃を外し、切り屑を取り除く

- ・ チェーン刃につまみづくずは、乾いた布またはブラシなどで取り除いてください。
- ・ ガイドバーの溝につまった切り屑はつまようじなどで取り除いてください。



- 4** スプロケット周辺の切り屑を取り除く



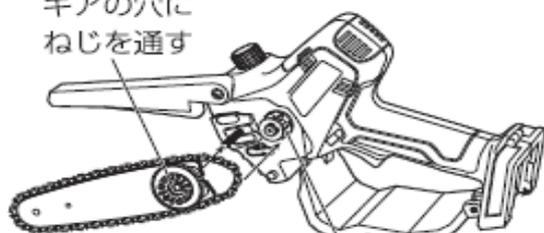
スプロケット

お手入れ っづき

5 ガイドバーにチェーン刃を取り付けてから、本体に取り付け、チェーン刃をスプロケットにかける

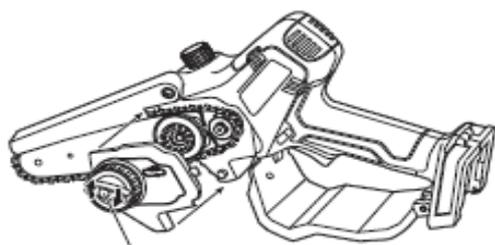
- ・チェーン刃がガイドバーの溝から外れないように、押さえながら取り付けてください。
- ・取り付け後、チェーン刃がガイドバーの溝から外れないように、ギアを手で回してチェーン刃の張りを調整してください。

ギアの穴に
ねじを通す



スプロケットに
チェーンをかける

6 本体カバーを取り付け、ダイヤルロックつまみを「」の方向に締まる直前まで回す



ダイヤルロックつまみ
(回して締める)

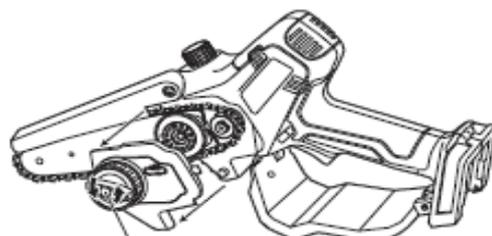
7 チェーン刃の張りを適切に調整して、ダイヤルロックつまみをしっかり締める

■ 自動注油口のお手入れ

チェーン刃オイルの注油が十分でないときは、自動注油口のお手入れをしてください。

- ・分解と組み立ての手順は、前項の「切り屑が中につまったとき」と同様です。前項を参照して分解・組み立てを行ってください。

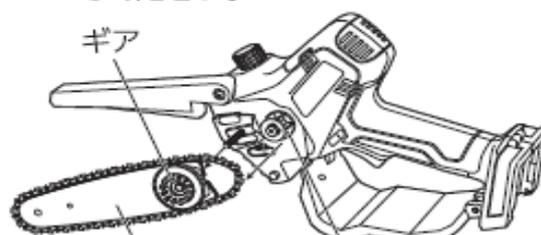
1 ダイヤルロックつまみを「」の方向に回し続けて、本体カバーを外す



ダイヤルロックつまみ
(外れるまで回す)

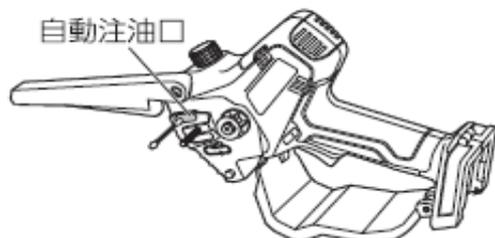
2 チェーン刃をつけたまま、ガイドバーをシャフトから外す

- ・チェーン刃がスプロケットから外れにくいときは、ギアを反時計回りに回してチェーン刃の張りをゆるめてください。



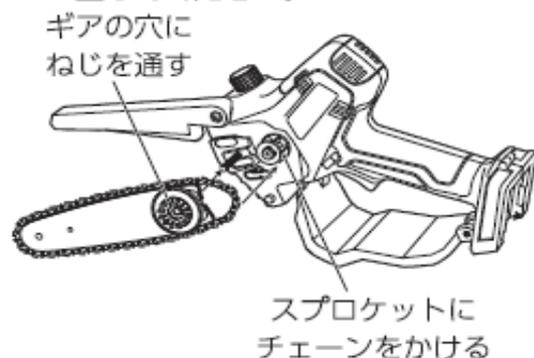
ガイドバー スプロケット

3 自動注油口のごみ・汚れを取り除く



4 ガイドバーにチェーン刃を取り付けてから、本体に取り付け、チェーン刃をスプロケットにかける

- ・チェーン刃がガイドバーの溝から外れないように、押さえながら取り付けてください。
- ・取り付けた後、チェーン刃がガイドバーの溝から外れないように、ギアを手で回してチェーン刃の張りを調整してください。

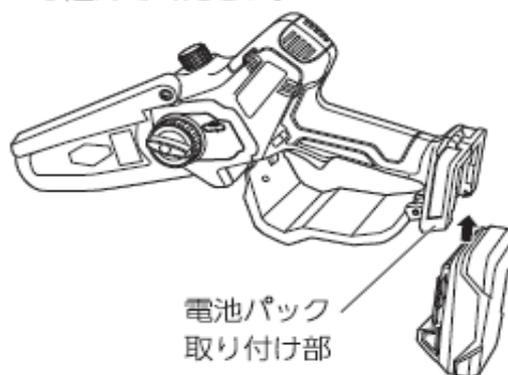


5 電池パックを取り付ける



- 安全ロックボタンやトリガーに触れないように注意してください。

- ・電池パック取り付け部に、電池パックを差し込み、カチッとなるまで押し込んでください。



5 チェーンソーを動作させ、自動注油口にたまっている細かなごみをオイルで洗い流す

6 電池パックを取り外し、チェーン刃に残った汚れを拭き取って、元通りに組み立てる

お手入れ っづき

■ チェーン刃の交換

チェーン刃が摩耗して、切れ味が悪くなってきたら、新しいチェーン刃をお買い求めの上、交換してください。

- ・ 分解と組み立ての手順は、前々項の「■切り屑が中につまったとき」と同様です。前々項を参照して分解・組み立てを行ってください。

1 本体カバーを外し、チェーン刃とガイドバーを取り外す

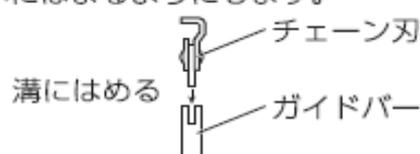
2 古いチェーン刃をガイドバーから取り外し、新しいチェーン刃を取り付ける

- ・ チェーン刃の向きを間違えないようにしてください。取り外した本体カバー及び本体に示してある図を参考にしてください。



チェーン刃の向きの図
(本体カバーに図示)

- ・ チェーン刃がガイドバーの溝にきれいはまるようにします。



3 元通りに組み立てる

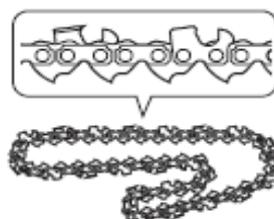
4 チェーン刃の張りを点検して調整する

- ・ P11「チェーン刃の張りの点検と調整」を参照して、必要な調整を行ってください。

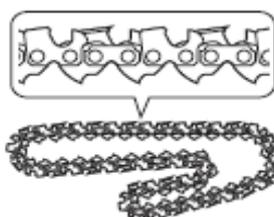
■ 消耗部品について

消耗部品については、お買い上げの販売店へご用命ください。

チェーンソー替刃 BS-18VHC150用
JAN 4920501618114



硬い木専用チェーン刃 BS-18VHC150用
JAN 4920501617780

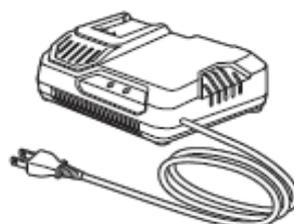


電池パック 1.5A BS-18VBP15
JAN 4920501895164

電池パック 3.0A BS-18VBP30
JAN 4920501898608



18V電池パック専用充電器 BS-18VCG
JAN 4920501895171



故障かな？と思ったときに

修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。

状態	原因	処理
充電されない。 (充電器のランプが点灯しない。)	充電器がコンセントに確実に差し込まれていない。	充電器の電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
	電池パックが確実に充電器に差し込まれていない。	カチッとなるまで電池パックを確実に充電器に差し込んでください。
充電しても運転時間が短い。	室温が低すぎる場所や、高すぎる場所で充電すると、正常に充電できないことがある。	5～30℃の、直射日光の当たらない場所で充電してください。
	電池パックが寿命に達している。	正しく充電しても使用時間が著しく短くなったときは、電池パックを新しいものに交換してください。(→P24「消耗部品について」)
充電中、電池パックや充電器が温くなる。	充電電流が流れているため少し発熱する。	異常ではありません。
使用中、本体が温くなる。	電池パックやモーターの発熱のため、本体が少し温くなる。	異常ではありません。
トリガーが引けない。	安全ロックボタンが押されていない。	安全ロックボタンを押しながらトリガーを引いてください。そのままトリガーを引き続けると、安全ロックボタンは元に戻りません。
トリガーを引いても動作しない。	電池パックが消耗している。	電池パックを充電器に取り付けて充電してください。(→P12)
	電池パックがきちんと差し込まれていない。	カチッとなるまで電池パックをしっかり差し込んでください。
	チェーン刃やガイドバーに歪みがあり、動作できない。	歪んでいる部品を、新しいものに交換してください。交換用の部品は、販売店にてお買い求めください。
動作してもすぐ止まる。	モーターが過熱している。	少し時間を置いて、モーターを冷ましてください。

故障かな？と思ったときに つづき

状態	原因	処理
チェーン刃の動きが鈍い。	チェーン刃の張りが強すぎる。	張り調整ダイヤルでチェーン刃の張りを調整してください。(→P11)
	スプロケットやチェーン刃に切り屑がつまっている。	P21「切り屑が中につまったとき」を参照して、スプロケット周りにたまったごみを取り除いてください。
	自動注油のオイルがなくなっている。	オイルタンクに給油してください。(→P12)
	自動注油口にごみがつまって、注油されない。	自動注油口のお手入れをしてください。(→P22)
	ガイドバーの溝にゴミがつまって、オイルが全体に回らない。	P21「切り屑が中につまったとき」を参照して、ガイドバーの溝のお手入れをしてください。
枝や草が切れない。	枝や草が絡まっている。	電池パックを取り外してから、チェーン刃のお手入れをしてください。(→P19)
	チェーン刃が、ガイドバーの溝にきちんとはまっていない。	「チェーン刃の交換」(→P24)を参照して、チェーン刃をガイドバーの溝にきちんとはめてください。
	ダイヤルロックつまみが締まってないため、ガイドバーががたつく。	ダイヤルロックつまみを最後までしっかり締めてください。
	チェーン刃の張りが足りない。	ダイヤルロックつまみをゆるめ、張り調整ダイヤルでチェーン刃の張りを調整した後、再度ダイヤルロックつまみを締めてください。
	チェーン刃の向きが逆になっている。	「チェーン刃の交換」(→P24)を参照して、チェーン刃を正しい向きに取り付け直してください。
	チェーン刃が摩耗している。	チェーン刃の目立てを行ってください。(→P20) それでも直らない場合は、新しいチェーン刃に交換してください。(→P24)

※ 上に記載されている処理をしても改善されないときは、販売店に修理をご依頼ください。

仕様

■ 本体 BS-18VHC150

チェーンスピード	8.0m/s
作業目安(1回の充電当たり)	35×35mm赤松角材 約160本
電源	18Vリチウムイオン電池パック
サイズ(電池パック含む)	幅200×奥行95×高さ430mm
質量(電池パック含む)	1.73kg
切断能力	最大約150mm(樹木の種類により異なります。)
オイルタンク容量	約50mL

■ リチウムイオン電池パック BS-18VBP15

電圧	DC 18V
容量	1.5Ah
サイズ	長さ120×幅78×高さ53mm
質量	約360g(付属品除く)

■ 18V リチウムイオン電池パック専用充電器 BS-18VCG

電源	AC 100～240V、50/60Hz
入力容量	80W
出力電圧	18V
出力電流	22V / 3A
充電時間	約30分(電池状態・環境により異なります。)
サイズ	幅180×奥行150×高さ75mm
質量	約500g

※ 商品の仕様・外観は、改良のため変更することがあります。

充電式ハンディチェーンソー BS-18VHC150 保証書【保証期間/お買い上げ日より6か月(半年)】

無料修理規定	1 本書はお買い上げ商品にのみ適用されますので、その他一切の工事費用などは適用外となります。	5 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
	2 保証期間内でも、次のような場合は有料となります。 (1) 使用上の誤り、不当な改造・修理による故障及び損傷 (2) お買い上げ後の移動・輸送・引越し・落下などによる故障及び損傷 (3) 火災・水害・地震・落雷・その他の天災地変・公害及び異常電圧による故障・損傷 (4) 一般家庭用以外(業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷 (5) 本書の提示がない場合 (6) 本書に、販売店名・お買い上げ年月日を証明するものが添付されていない場合、あるいはその字句が書き換えられている場合	6 この保証書は、本書に明示された条件・期間において無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
	3 本書は、付属品及び消耗品には適用されません。	7 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。修理ができない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
	4 本書は、日本国内においてのみ適用されます。This warranty is valid only in Japan.	◆お客様お問い合わせ窓口における個人情報の取り扱い 弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知した上で必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただきます。その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に保管して、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲で開示する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供はしません。

本書は、販売店名・お買い上げ年月日を証明できるもの(販売店レシートや証明書)が添付されていない場合は無効です。保証期間であっても有料修理となりますので、必ずご確認ください。

- 保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって、正常な使用・保管状態で故障した場合には、本書により無償で修理いたします。
- 保証期間内に故障して無償修理を受けられる場合には、商品(本体・付属品)と保証書(販売店レシートや証明書を添付したもの)をご持参の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。

品名	充電式ハンディチェーンソー BS-18VHC150		
JAN	4920501418691	お買い上げ年月日	年 月 日
お客様	ご住所	販売店 証明書など添付	住所
	お名前		社名・店舗
	電話		電話

の欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

株式会社 RETZ

〒959-1156 新潟県三条市福島新田1347-4

お客様お問い合わせ窓口：TEL 0256-45-3701

受付時間 月～金曜日

9:00～12:00、13:00～17:00

(土・日・祝祭日・当社指定休日を除く)